

令和6年度全国児童自立支援施設職員研修実施要綱（案）

「子どもの育ち、職員の育ち、チーム養育」

1. 目的 児童自立支援事業に対する認識を深め、職員としての専門的知識を習得し、職務遂行能力および自己啓発意欲を高めることを目的とする。
2. 主催 こども家庭庁こども支援局
3. 運営 国立武蔵野学院附属人材育成センター
4. 場所 国立武蔵野学院、または国立きぬ川学院
5. テーマ・日程・申込〆切 （各研修の概要は次頁以降の各研修概要のとおり）

研修種別・テーマ	期 間	募集人数	〆切
新任施設長研修〔前期：武蔵野学院 後期：きぬ川学院〕 「子どもと職員が育つ施設運営」 ※前後期とも必修 (法)	令和6年5月14日～5月16日 令和6年10月22日～10月24日	30名	4/15 (月) 必着
スーパーバイザー研修〔武蔵野学院〕 「チーム養育と人材育成」	令和6年9月18日～9月20日	30名	5/31 (金) 必着
中堅職員研修 コースⅠ〔武蔵野学院〕 「子どもの育ちのアセスメントとチーム養育」	令和7年1月21日～1月24日	30名	
中堅職員研修 コースⅡ〔武蔵野学院〕 「性問題行動の理解と支援」	令和7年2月4日～2月7日	30名	
中堅職員研修 コースⅢ〔きぬ川学院〕 「性被害の理解と支援」	令和6年9月3日～9月6日	8名	
中堅職員研修 実習コース			
① 第1グループ〔武蔵野学院〕 ② 第2グループ〔きぬ川学院〕	令和6年10月1日～10月4日 令和6年12月10日～12月13日	8名 6名	
新任職員研修〔前期後期ともに武蔵野学院〕 「児童自立支援施設における子どもと職員の育ち」 ※前後期とも必修	令和6年7月23日～7月25日 令和7年1月7日～1月9日	30名	4/15 (金) 必着
新任職員研修 実習コース 「児童自立支援施設における子どもと職員の育ち」			
① 第1グループ〔武蔵野学院〕 ② 第2グループ〔武蔵野学院〕 ③ 第3グループ〔武蔵野学院〕	①令和6年5月28日～5月31日 ②令和6年6月11日～6月14日 ③令和6年6月25日～6月28日	各回 8名	
① 第4グループ〔きぬ川学院〕 ② 第5グループ〔きぬ川学院〕 ③ 第6グループ〔きぬ川学院〕	④令和6年6月4日～6月7日 ⑤令和6年6月18日～6月21日 ⑥令和6年11月26日～11月29日	各回 6名	
連続事例検討セミナー〔武蔵野学院+オンライン〕 「ケースカンファレンスのあり方 ～子どもと職員の育ちのために～」	①令和6年7月2日～7月3日 (参集) ②令和6年8月～令和7年2月 (毎回オンラインで2時間程度) ③令和7年3月4日～3月5日 (参集)	9名 以内	5/17 (金) 必着

6. 参加申し込み方法

- (1) 申込：申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）。なお、やむを得ない場合のみ、PDF 又は郵送でも受け付けます。

※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。

※申込数が募集人数を超えた場合は参加の可否について、事務局からご連絡いたします。選考の際に、経歴を参考にする場合があります。申込書の経歴の部分は詳細にお書きください。

※参加決定通知及び詳細な要綱については、参加所属長宛に概ね研修2ヶ月前に送付します。

※昨年度、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、特にファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申し込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけて送信いただけますようお願いいたします。

7. その他

- ・各研修で、交流会を予定しています。
- ・諸般の事情により、日程及び内容、費用に変更が生じる場合がありますことを、予めご了承ください。特に費用については、昨今の状況による変動が大きくなる可能性があります。

<事務局（申込先）>

国立武蔵野学院附属人材育成センター 研修課

〒336-0963 さいたま市緑区大字大門 1030 番地

TEL 048-878-1260（音声案内2番）

FAX 048-878-1244

E-mail musashino.kensyu@cfa.go.jp

全国児童自立支援施設 新任施設長研修 「子どもと職員が育つ施設運営」

1. 目的 児童自立支援施設の役割を理解し、子どもの権利擁護や人材育成等、社会からのニーズに対応し、子どもと職員が育つ施設運営を学ぶ

※児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第81条に定める要件研修
2. 対象者 令和5年4月1日以降に着任した施設長および着任予定の者
3. 期間 前期 令和6年5月14日（火）～5月16日（木）
OJT 令和6年5月17日（金）～10月21日（月）
後期 令和6年10月22日（火）～10月24日（木）（前後期とも必修）
4. 場所 前期 国立武蔵野学院（5/14-16）
OJT 各施設
後期 国立きぬ川学院（10/22-24）
5. 内容（予定）
(1) 事前レポート課題
前期、後期ともに児童の権利擁護に関する内容を、昨今の児童福祉行政の動きにあわせて設定する。後期については、前期からの内容について検討するものとする。

(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、児童自立支援施設の歴史及び事業概論、子どもの権利擁護、子どもの養育の質の向上、被措置児童等虐待の予防、児童精神医学、子どもの暴力や性などのテーマから講義、演習を行うことで、意見交換し、議論を深めることで施設運営についての理解を深める。また、研修日程中に国立武蔵野学院、国立きぬ川学院の見学も予定している。
6. 費用 前期 16,000円程度（寝具レンタル料、食費、部屋クリーニング料）

後期 14,000円程度（寝具クリーニング料、食費）

※費用については、昨今の物価高騰等の影響を受け変動する可能性があります。
※後期研修については、宿泊場所によって費用が異なります。
※前期後期ともに、初日に交流会を予定しています。
7. 申込 令和6年4月15日（月）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※昨年度、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、特にファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申し込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけて送信いただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 スーパーバイザー研修 「チーム養育と人材育成」

1. テーマ 「チーム養育と人材育成」
2. 目的 職員を育てる施設文化を構築するチーム養育とケースマネジメント、スーパーバイズのあり方を学び、人材育成について考える。
3. 対象者 児童自立支援施設経験5年以上の者あるいは、スーパーバイザー又は指導的立場にある者
4. 期間 令和6年9月18日（水）～9月20日（金）
5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
6. 内容

(1) 事前レポート課題「児童自立支援施設におけるスーパーバイズのあり方」（仮）
「事例レポート」（仮）

(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、児童自立支援運営論、ケースマネジメント、スーパーバイズのあり方、チーム養育、人材育成、子どもの権利擁護、被措置児童等虐待の防止、また、研修日程中に国立武蔵野学院の見学も予定している。

見学 国立武蔵野学院
7. 費用 16,000円程度（寝具レンタル料、食費、部屋クリーニング料）
※初日に交流会を予定しています。
8. 申込 令和6年5月31日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※昨年度、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、特にフ
ァイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申し込みが漏れるというこ
とがありました。メール送信の際には、開封通知をつけて送信いただけますようお
願いたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅠ

「子どもの育ちのアセスメントとチーム養育」

1. テーマ 「子どもの育ちのアセスメントとチーム養育」
2. 目的 専門性をより向上させるための高度な知識と技術を学ぶステップアップ研修。
3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
4. 期間 令和7年1月21日（火）～1月24日（金）
5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
6. 内容 (1) 事前レポート課題「子どもの育ちのアセスメントとチーム養育の現状と課題」（仮）
「事例レポート」（仮）

(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、子どもの育ちのアセスメント、児童自立支援施設におけるチーム養育、子どもの権利擁護、被措置児童等虐待の防止、機関連携、事例検討などを通して、中堅職員としてのスキルアップを図る。また、研修日程中に国立武蔵野学院の見学も予定している。
6. 費用 19,000円程度（寝具レンタル料、食費、部屋クリーニング料）
※初日に交流会を予定しています。
7. 申込 令和6年5月31日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※昨年度、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、特にファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申し込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけて送信いただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅡ

「性問題行動の理解と支援」

1. テーマ 「子どもの性問題の理解と支援」
2. 目的 専門性をより向上させるための高度な知識と技術を学ぶステップアップ研修
3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
4. 期間 令和7年2月4日（火）～2月7日（金）
5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
6. 内容 (1) 事前レポート課題「各施設における性問題への対応の現状と課題」（仮）
「事例レポート」（仮）

(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、性加害児童への理解と対応、アセスメント、性被害の理解と対応、施設における性教育、子どもの権利擁護と被措置児童等虐待の防止、関係機関連携、事例検討などを通して性に関する理解を深め、スキルアップを図る。また、研修日程中に国立武蔵野学院の見学も予定している。
6. 費用 19,000円程度（寝具レンタル料、食費、部屋クリーニング料）
※初日に交流会を予定しています。
7. 申込 令和6年5月31日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※昨年度、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、特にファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申し込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけて送信いただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅢ 「性被害の理解と支援」

1. テーマ 「性被害の理解と支援」
2. 目的 専門性をより向上させるための高度な知識と技術を学ぶステップアップ研修
3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
4. 期間 令和6年9月3日（火）～9月6日（金）
5. 場所 国立きぬ川学院（宿泊研修）
6. 内容 (1) 事前レポート課題「事例レポート～性被害を受けた児童への対応～」
(2) 講義及び演習
児童家庭福祉行政、子どもの権利擁護と被措置児童等虐待の防止、性被害を受けた子どもの理解と生活支援、性被害を受けた子どもと支援者のための心理教育、生活内で子どもから性被害の開示があったときの対応、関係機関連携などの講義、演習を通して、性被害体験を抱える子どもへの理解を深め、スキルアップを図る。また、研修日程中に国立きぬ川学院の見学も予定している。
7. 費用 10,000円程度（寝具クリーニング料、食費）
※初日に交流会を予定しています。
8. 申込 令和6年5月31日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※昨年度、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、特にファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申し込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけて送信いただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 中堅職員研修 実習コース 「子どもの育ちのアセスメントとチーム養育」

1. 目的 実習を中心としたプログラムにより、子どもの理解、具体的な支援を学ぶステップアップ研修
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
3. 期間 1グループ（国立武蔵野学院）令和6年10月1日（火）～10月4日（金）
2グループ（国立きぬ川学院）令和6年12月10日（火）～12月13日（金）
4. 場所 1グループ・・・国立武蔵野学院（宿泊研修）
2グループ・・・国立きぬ川学院（宿泊研修）
5. 内容 (1) 事前レポート課題「子どもの育ちのアセスメントとチーム養育の現状と課題」（仮）

(2) <1グループ> 国立武蔵野学院
国立武蔵野学院概要、施設見学、武蔵野学院における寮舎運営、武蔵野学院における学校教育、寮舎実習など

<2グループ> 国立きぬ川学院
国立きぬ川学院概要、性被害を受けた子どもの理解と生活支援、距離感のワーク、寮舎実習など
6. 費用 <1グループ> 13,000円程度（寝具レンタル料、食費、部屋クリーニング料）
<2グループ> 10,000円程度（寝具クリーニング料、食費）
※初日に交流会を予定しています。
7. 申込 令和6年5月31日（金）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※昨年度、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、特にファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申し込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけて送信いただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 新任職員研修

「児童自立支援施設における子どもと職員の育ち」

1. 目的 児童自立支援施設における基本的な心構え、知識、技術を学ぶ基礎研修。
(講義と演習による)
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年未満の者
3. 期間 前期 令和6年 7月23日(火)～7月25日(木)
OJT 令和6年 7月26日(金)～1月 6日(月)
後期 令和7年 1月 7日(火)～1月 9日(木)
※前後期とも必修
4. 場所 前期 国立武蔵野学院(宿泊研修)
OJT 各自施設
後期 国立武蔵野学院(宿泊研修)
5. 内容 (1) 事前レポート課題
前期「児童自立支援施設で働くうえでのやりがいと困難」等(予定)
後期 前期研修で決定、事例レポート(予定)

(2) 講義及び演習
児童自立支援概論、子どもと家族のアセスメント、子どもの育ちのための養育、児童自立支援施設の養育者としての役割、国立武蔵野学院における寮舎運営、関係機関連携などの講義を通して日々の養育に関する理解を深め、またグループ討議などを通して、情報交換、意見交換を行うことで、日々の業務を振り返ることで、スキルアップを図る。
6. 費用 前期 16,000円程度(寝具レンタル料、食費、部屋クリーニング料)
後期 16,000円程度(寝具レンタル料、食費、部屋クリーニング料)
※前期後期ともに、初日に交流会を予定しています。
7. 申込 令和6年4月15日(月)必着
申込書(Word)に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先: musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※昨年度、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、特にファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申し込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけて送信いただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 新任職員研修 実習コース

「児童自立支援施設における子どもと職員の育ち」

1. 目的 児童自立支援施設における基本的な心構え、知識、技術を学ぶ基礎研修。
(講義・演習と寮舎実習を組み合わせたコース)
2. 対象者 児童自立支援施設で勤務経験が原則2年未満の者
3. 期間

1グループ	令和6年5月28日(火)～5月31日(金)
2グループ	令和6年6月11日(火)～6月14日(金)
3グループ	令和6年6月25日(火)～6月28日(金)
4グループ	令和6年6月4日(火)～6月7日(金)
5グループ	令和6年6月18日(火)～6月21日(金)
6グループ	令和6年11月26日(火)～11月29日(金)
4. 場所

1・2・3グループ	国立武蔵野学院
4・5・6グループ	国立きぬ川学院
5. 内容
 - (1) 事前レポート課題「児童自立支援施設で働くうえでのやりがいと困難」等(予定)
 - (2) 第1～3グループ(国立武蔵野学院)
国立武蔵野学院概要、施設見学、寮舎実習、国立武蔵野学院における寮舎運営、学校教育など
 - (3) 第4～5グループ(国立きぬ川学院)
国立きぬ川学院概要、施設見学、寮舎実習、国立きぬ川学院における寮舎運営、学校教育など
6. 費用

<第1～3グループ>	13,000円程度(寝具レンタル料、食費、部屋クリーニング料)
<第4～6グループ>	10,000円程度(寝具クリーニング料、食費)

※各研修、初日に交流会を予定しています。
7. 申込 令和6年4月15日(月)必着
申込書(Word)に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先: musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※昨年度、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、特にファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申し込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけて送信いただけますようお願いいたします。

全国児童自立支援施設 連続事例検討セミナー

「ケースカンファレンスのあり方～子どもと職員の育ちのために～」

(参集型とオンラインの組合せ)

- 1. 目的** 担当する子どもの育ち、家族のあり方を詳細に検討していく中で、受講者自身の支援、チーム・組織の支援を振り返り理解を深めることで、支援の幅を広げていくこと、そして、そのことを通して、発表する者の育ちにつなげていくことを目的とした研修。
- 2. 対象者** 児童自立支援施設での勤務経験が8年以上の者、または当センター開催のSV研修あるいは中堅職員研修参加経験の有る者、かつ寮担当など直接処遇職員で、指導的立場にある者（準ずる者も含む）。全日程参加できる者に限る。
- 3. 期間**

初回	令和6年7月2日（火）、3日（水）	[国立武蔵野学院]
2回～7回	令和6年8月～令和7年2月の間で月1回（2時間）開催	[オンライン]
	※回数は参加者数による	
	※日程は初回に決定	
最終回	令和7年3月4日（火）、5日（水）	[国立武蔵野学院]
- 4. 場所** 武蔵野学院およびオンライン
- 5. 内容**
 - (1) 初回 7月2日（火）、3日（水）
参加者が一堂に会し、一年間行う研修の目的の確認し、カンファレンスのもつ意義等についての講義を外部講師（スーパーバイザー）にさせていただき、実際に事例検討を行う。
 - (2) オンライン事例検討（8月～2月）
毎回、参加者から事例を提出してもらい、2時間の枠で検討をし、事例の理解と支援方針を深める。
原則参加者は年間必ず1回は事例を提出する。事例検討には、外部講師にスーパーバイザーとして出席してもらう。
 - (3) 最終回 3月4日（火）、5日（水） まとめ

◎本研修では、事例を改めてまとめることで、ケースの理解を深めること、気づきを得ることなどにより、よりよい支援につなげることを目的としている。個々の事例検討会では提出した事例の展開、関わりが正しいか否かを検討することが目的ではなく、助言者や参加者から様々な意見をもらうこと、そして議論を重ねることにより、さらに見立て、支援の幅を広げ、実際の子どもの育ちにつなげていくことを検討するためのものとなる。したがって、事例検討会では、支援そのものだけでなく、発表者自身のあり方、あるいはチームや組織のあり方を振り返ることにもなりうる。こうした営みは人材育成において非常に重要な要素とされているが本研修でもこの点は重視したいと考えている。こうした機会を共有することを通して、全国の児童自立支援施設にこうした形の人材育成の形が広がることを期待する。
- 6. 費用**

初回、最終回	各回8,000円程度（寝具レンタル料、食費、部屋クリーニング料）
オンライン	無料

※初回（7月）に交流会を予定しています。
- 7. 申込** 令和5年5月17日（金）必着

申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。

（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）

※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。

なお、やむを得ない場合のみ、PDF 又は郵送でも受け付けます。

※昨年度、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、特にファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申し込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけて送信いただけますようお願いいたします。

令和6年度 全国児童自立支援施設職員研修申込書

※メール（Word）にて申込書を送付してください。

研修名	
期間	
場所	国立武蔵野学院・国立きぬ川学院
備考	食物アレルギー（ 無 ・ 有 : _____ ） 有の場合は品名を記入して下さい
施設名	
(ふりがな) 参加者名	性別（ ） 年齢（ ） TEL _____ FAX _____ E-mail _____
職名	
研修内容等を送付等 する連絡先	氏名（ふりがな） : _____ メールアドレス : _____ ★参加者と同じ場合は記入しないで結構です。 ★研修内容はメールでやりとりします。必ずどちらかにお書きください。
職歴 ※詳細をお書きくだ さい ★詳細にお書き下さ い。選考の際、参考 にさせていただきます 。記載が不十分の 場合、やむなく選考 外になることもあり ますので、ご了承く ださい。	児童自立支援施設勤務歴【通算】 _____ 年目 児童相談所勤務歴【通算】 _____ 年 児童福祉勤務歴【通算】 _____ 年目 (保育施設、児童館を除く)
<p>以上のとおり、令和6年度全国児童自立支援施設職員研修に申し込みます</p> <p>年 月 日</p> <p>施設長名</p> <p>国立武蔵野学院附属人材育成センター長 宛</p>	

※申込時に得た情報は、研修業務（研修会要項の名簿掲載、講師及び見学先への名簿提供を含む）以外の目的で利用しません。